

猛禽類保護センター10周年 & 「COP10」開催記念

2010年 **10月11日** (祝月)

(開場13:00) 開演 13:30~16:10

●会場 酒田市公益研修センター
多目的ホール[公益ホール]
(東北公益文科大学酒田キャンパス内)
酒田市飯森山3丁目5-1

入場無料

猛禽類保護センター
愛称&キャラクター
発表!

イヌワシ リレートーク

猫ハさんの **楽しい鳴きまね**

「鳴きまねで楽しくわかる、
こぎまものつながり」



極東イヌワシ・クマタカ
研究グループ代表

井上剛彦氏

「日本と海外のイヌワシ
~その現状と保護の必要性~」



秋田市大森山動物園 園長

小松 守氏

「大森山動物園

イヌワシのいのちをつなぐ物語」

猛禽類保護センター

希少な猛禽類(ワシ・タカ類)の保護推進、調査研究、普及啓発を行う施設として環境省が2000年に鳥海山南麓(酒田市)に設置した、全国で唯一のセンターです。猛禽類保護活動拠点施設として、各種展示や観察会などを通じてみなさんにイヌワシなど希少猛禽類保護について知っていただく活動もしています。

「COP10」生物多様性条約第10回締約国会議(国連地球生きもの会議)



いのちの共生を、未来へ
COP10/MOP5 愛知-名古屋 2010

世界各国190カ国以上の人々が参加する、生物多様性についての国際会議です。10月に名古屋で行われます。10回目の会議であるCOP10は、生物多様性を守っていくための大きな節目となる重要な会議で、国連は開催年である今年を「国際生物多様性年」と定めています。「生物多様性」とはこの地球上の森、里、川、海をはじめとした自然や環境、生きものたちの豊かな個性とつながりのことで、私たちはその多様性がもたらす恵みの中で生きています。生物多様性が失われようとしている現在、生物多様性保全の取組が求められています。

1 発表! 猛禽類保護センター 愛称&キャラクター

開所10周年を記念して募集した愛称&キャラクター作品の中から、最優秀作品の発表をいたします。

2 リレートーク

● 四代目 江戸家猫八氏

【プロフィール】1968年より父・三代目江戸家猫八氏について修業。多彩な鳴きまねの芸によりTV番組等で活躍。2009年に四代目猫八を襲名。芸の対象となる野鳥の観察を通じて自然界への造詣も深く、「地球いきもの応援団」として生物多様性の重要性を伝える関連イベントに多数出演。

「鳴きまねで楽しくわかる、いきものつながり」

私たちの暮らしを支えている自然。実は、その成り立ちはいきものつながりが支えています。人が暮らせる環境とイヌワシが暮らせる環境は実はつながっています。猫八さんが鳴きまねを交えて楽しく「生物多様性」についてお話しします。

● 極東イヌワシシマタカ研究グループ代表 井上剛彦氏

【プロフィール】獣医師。環境省の猛禽類関係委員や、JICA短期専門家としてのジャワクマタカ調査指導に従事。鈴鹿山脈での調査に加えて、アジア猛禽類ネットワーク(ARRCN)を核にして、アジアや欧米の研究者とのネットワーク作りや協同研究を行っている。

「日本と海外のイヌワシ～その現状と保護の必要性～」

イヌワシってどんな鳥?日本と海外のイヌワシ(北米・スコットランド・ロシア等)のそれぞれの生態や現状、イヌワシに悪影響を与えている問題や、その保護について。国内外での調査、保護活動をしている井上さんのフィールドからのお話です。

● 秋田市大森山動物園 園長 小松 守氏

【プロフィール】1975年帯広畜産大学獣医学科卒、同年から現動物園勤務、1998年より園長、(社)日本動物園水族館協会の前理事兼種保存委員会事務局長、環境省・ツシマヤマメコ野生復帰等委員ほか(日本人の動物観を意識した動物園づくりを模索)

「大森山動物園イヌワシのいのちをつなぐ物語」

秋田市大森山動物園では40年間、イヌワシの飼育と展示をし、生命(いのち)をつないできています。人工授精への挑戦、独自に編み出した雛育成方法、イヌワシの生命(いのち)を目の当たりに体感できる手に乗せた展示。動物園と野生が結ばれることを夢見て…。40年近くイヌワシと向き合ってきた小松園長さんからのお話です。

3 みんなで学ぶイヌワシ イヌワシなんでもQ&A

江戸家猫八氏・井上剛彦氏・小松守氏
環境省 野生生物課 野生生物専門官 志田麻由子

会場案内図

酒田市公益研修センター 多目的ホール[公益ホール]
(東北公益文科大学酒田キャンパス内) 酒田市飯森山3丁目5-1

「イヌワシなんでも質問」

ただいま募集!

当日、会場の皆様の疑問・質問に講師陣からの回答をいただきます。事前の募集も行います。

- 質問方法 / お名前と質問を記入のうえ、事前に下記までどうぞ。

猛禽類保護センター 「イヌワシなんでも質問」係

- FAXの場合 FAX 0234-64-4683
- メールの場合 E-mail moukin@raptor-c.com

※時間の都合により、回答数が限定される場合がございますことをご了承下さい。

猛禽類保護センター 愛称 & イヌワシキャラクター

募集中

● 応募期間
9月27日(月)必着

※詳しくは猛禽類保護センターまでお問合せ下さい。

■ お問い合わせは・・・

猛禽類保護センター 〒999-8207 山形県酒田市草津字湯ノ台71-1
TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683
http://www.raptor-c.com/



鳥海山のイヌワシをはじめ、日本にいる猛禽類の生態や自然環境について展示しています。ぜひご覧ください。

- 開館時間 / 午前9時～午後4時30分
- 休館日 / 年末年始、1～2月(火・土・日・祝)、12月・3月(火)
- 入館無料